



～夢・未来へ～  
町民と議会をつなぐ

第**100**号  
令和6年1月17日



定例会毎に発行

# 河津町議会だより



100号までのあゆみ

P.2～P.3 令和6年議員の抱負

P.4～P.5 未来を見据え審議

▶ 定例会

P.6～P.11 町政を問う

▶ 一般質問（6人）

P.12 次なる議会改革

▶ 議会改革特別委員会

P.13 意見交換会を実施

▶ 常任委員会の活動

P.14 常任委員会活発化

▶ 議会のうごき・一部事務組合

P.16 私の一言 ～発刊100号によせて～

▶ 元河津町議会議長／飯田 正臣

▶ 元河津町議会広報編集特別委員会委員長／小林 和子



YouTubeで  
議会映像配信中



河津町議会  
WEBサイト



# 令和6年 議員の抱負



遠藤 嘉規 議長

新年あけましておめでとうございます。平素より町議会活動に対し、ご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

20年後も50年後も続く、住みよい、子育てしやすい町を作る為に、私たち町民が出来る事は色々あると思いますが、その一つが議会だと思えます。しかし、議員のなり手が居ないと言う問題が全国で、そして河津町でも起きています。現に今の河津町議会には女性や若者の議員が居ません。

皆さんは議員になろうと思えますか？どのような条件なら議員を目指せるのでしょうか？誰かがやってくれるのを待つのではなく、自らの手で河津町の未来を切り開いてみませんか？

一人でも多くの人が、議員を目指す事が出来るような議会環境の整備をするべく、河津町議会は本年も、議員全員で議会改革を進めていきます。



上村 和正 第2常任委員長

町の人口は、急速に減少し二十年後には三千人台になると推測されております。このような厳しい状況の中、町民が安心して暮らせるまちづくりを日々考え、まちづくりの提案をしてまいります。過疎地域から抜け出し、将来この町を牽引する若者たちに引き継げる、帰ってきたいまちづくりを進めたいです。



渡邊 昌昭 第1常任委員長

人口減少や高齢化が進む中、コロナ禍を抜け、ターニングポイントとなる年です。外国人観光客を含め、多くの観光客を呼び込み、伊豆縦貫道天城峠区間の早期着工を推し進め、IC周辺の整備、統合後の小学校跡地の利活用、農業等の一次産業の活性化等多くの課題に取り組み、未来の河津町が住んでよかつたと思える町にしたい。



大川 良樹 副議長

辰年は「激動の年になる」と言われており、過去にも大きな変動のある年で、伸びる方向を見極め、副議長の職務である、議会のまとめ役と言う立場で、しっかりと議論できる議会づくりと、町民の皆様が身近に感じる議会、未来の河津が笑顔溢れる町になるよう一躍を担っていききたい。



渡邊 弘 議会改革特別委員長

今取り組んでいる議会改革を続けま  
す。議員のなり手不足の解消のため  
も改革が必要と考えます。  
町民の皆様と議会の距離をどう縮め  
るか、議会の仕事を理解してもらえ  
るか、いかに議会としてチェック機能  
を果たしていくか、議員として議決権の  
重みも自覚しこれからの議会運営に  
取り組んで参りたい。



稲葉 静 監査委員

新年明けましておめでとうございま  
す。新しい年を迎え二度とない人生を  
新しい心構えで、生きたいものです。  
花は一瞬にして咲かない。大木も一  
瞬にして大きくならない。一日一夜の  
積み重ねの上にその栄光を示すのです。  
令和6年の河津町の人々の幸せを願  
い、つづ。



桑原 猛 広報常任委員長

「議会は何をやっている」を解り易  
く、また手に取ってもらえる議会だ  
よりの作成に励んでおります。本年も  
引き続き私たちの動きに注目していただ  
けるよう、いろいろなツールを利用して  
発信してまいります。また議会として  
町民の皆さまのご意見を伺う場を増や  
し、議会だよりで内容報告を逐一行っ  
てまいります。



宮崎 啓次 議会改革特別副委員長

新年を迎え、町民の皆様にとって実  
り多き一年となりますよう、心よりお  
祈り申し上げます。  
私の年頭の抱負は、まず体調を整え、  
議員活動のほか、交通安全・防犯の活  
動、河津桜守人、地域コミュニティの  
お手伝いなどボランティア活動を継続  
し、少しでも社会にお返しが出来る1  
年にしていききたいと思っております。



北島 正男 広報常任副委員長

移住者・介護士の立場として、地に  
足の着いた発信をしていく。障害者雇  
用の経験や、施設勤務により、社会的  
弱者に視点を置き、町の人の声を代弁  
してまいります。  
●有志で進めている、今夏の「みんな  
の盆踊り祭り」の成果を残したい。  
●私的には、愛車のバイクで伊豆各地  
を知るツーリングに行つてきまーす。



正木 誠司 第2常任副委員長

名古屋に行つたら味噌カツを食べ、  
伊勢に行つたら赤福を土産に購入する。  
河津町は？「河津と言えよ」とい  
う名物や特産品をみんなで考え生み出  
しアピールして、世界中の人々にK A  
WAZUに来てもらいましょう。  
「伊豆に行つてきた」から「河津に行つ  
てきた」と言われる「花と温泉リゾート・河津」を目指して様々な提案をし  
ていきます！

# 令和5年第4回 河津町議会定例会（抜粋）

第4回定例会が令和5年12月5日～6日の日程で開催された。

各議員の一般質問（別掲6～11ページ）のあと、人事案件2件、条例案件3件、規約関係1件、補正予算3件の計9件が上程され、各議員からの質問及び確認による審議を行い、可決・同意・承認した。主要各案件の概要と質疑は下記のとおり。

## 可決された議案 （抜粋）

### ● 人権擁護委員の推薦

中村 智美（見高浜）

### ● 教育委員会委員の任命

稲葉 亜紀（上峰）

### ● 犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等基本法（平成16年法律）に基づき犯罪被害を受けた町民及びその家族又は遺族に対し、総合的支援の窓口の設置と見舞金の支給についての条例を制定し、令和6年4月1日から施行する。

**質問** 今までなぜ制定しなかったのか。

**回答** これまで下田署管内において対象となる犯罪の発生がなかったから。

**質問** これらの窓口は。

**回答** 町民生活課を窓口とし、ワンストップで支援を図る。

### ● 国民健康保険条例の一部改正

出産予定月の前月から翌々月までの4か月間相当分の国民健康保険税を軽減するため必要な箇所を改正し、令和6年1月1日から施行する。

**質問** 1月施行で1月出産予定者の出産前の軽減は。

**回答** 1月1日施行なので、1月の出産月と産後の2か月の3か月相当分が軽減となる。

### ● 一般会計補正予算

4680万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ50億855万2千円とする。主な内容と質問は、次のとおり。

#### ・ 防災公園整備測量設計

**質問** 当初計画からの変更内容は。また、今後説明会の実施予定は。

**回答** 擁壁と排水計画（調整池）の費用がかさ

み、盛土の搬入量変更により平面1段から2段に変更し、ヘリポートはバガテルに移し、費用の削減を図る。測量は必要で、今後、地元区及び町民へ丁寧な説明の上、予算執行する。



防災公園予定地

#### ・ 防災拠点施設整備（長野地区）予算繰り越し

**質問** 何に時間がかかっているのか。

**回答** 基礎杭の製造に時間がかかるなど、工程が伸び時間を要する。

#### ・ 七滝駐車場の公衆トイレ建設設計業務委託

**質問** 便器数や多目的トイレ、※オストメイト対応設備など計画するか。

**回答** 便器の数や多目的トイレの設置は、敷地面積によるが、建設条件により打合せしていく。設備も今後詰めていく。



現在の七滝駐車場トイレ

#### ・ 大鍋地区の治山事業 ・ 公共交通機関燃料高騰 対策支援補助金

※手術によって人工肛門、人工膀胱を造設した人への対応

・護岸の長寿命化計画策定業務委託



ペロバ海岸近くの防潮堤

・児童生徒用パソコンフット使用料  
・戸籍システム改修委託  
・保健福祉防災センター改修工事設計委託（長寿命化の一環で雨漏りや外壁を改修予定）



保健福祉防災センター

・障害者自立支援給付費等システムの改修委託

## 議員説明会

（11月21日に開催）

### 主な説明事項

・新型コロナウイルス関連の交付金事業の交通輸送事業者への助成  
交通・輸送を維持するため、町内の事業者に感染症の影響や燃料高騰分の一部を補助。

**質問** 補助額の計算式は。

**回答** 路線距離数により算出した額の3分の1。

・コロナ禍による農産物輸送費高騰対策補助金の補正予算  
流通システムが止まらぬよう新規輸送システムとしてフェリーと空輸で北海道への輸送を数社の連携で構築。

**質問** 主たる輸送物は

**回答** 来春に柑橘「はるひ」を計画、併せて北海道で観光イベントも考える。

・小中学校の施設整備と一貫型の基本方針の検討について

文教施設整備検討委員会を立上げ小中一貫校の教育形態・施設形態を令和5～6年度にて検討。

**意見** 小学校移転の場合

は、旧2小学校の轍を踏まず、校舎の後利用も同時に考えられたい。

・人事院勧告による、河津町職員、特別職の給与報酬の改定（臨時会の項を参照）

・保健福祉防災センターの改修について  
長寿命化の一環で工事設計を委託。令和6年には、改修事業を行う予定で2階事務スペースの用途変更や利便性向上のため、土足可能エリアの拡大などを予定する。

**意見** 大きな予算となるので、資材高騰や工程管理などをしっかり行うべき。

・熊（ツキノワグマ）の錯誤捕獲について  
体調は120センチ、麻酔をかけワナを外し放した。

**質問** 発信機など他の熊との区別や行動追跡をしなかつたのか。

**回答** すべて県の判断で行った。伊豆森林管理署により、注意喚起の看板設置と、町は町民へ注意喚起を行う。今のところ発信機などの準備はしない。

・役場職員の交通事故加害について報告  
本人の現場対応、その後の謝罪やその姿勢に対し、親族は謝罪を受け入れ、今後役場の仕事を頑張るようと言われている。

**意見** 本人の処分が終わり勤務再開できたら本人のケアも考えてあげたい。

以上のように定例会前に事前報告と説明があり、適宜質問及び意見と確認を行った。

質問と回答は「定例会」の項に掲載。

## 全員協議会

（11月27日に開催）

第4回定例会に提出議案の人事案件2件、条例案件3件、規約関係1件、補正予算3件の事前説明が行われた。（説明及び質問と回答は、定例会の項に掲載。）

## 臨時会

（11月27日に開催）

人事院の勧告に伴い、河津町職員の給与を平均1・1%引き上げ、特別給は0・1か月引き上げに關し、条例の一部を改正する。なお、常勤特別職の特別給の支給を職員職の改定に準じて引き上げる。

# 町政を問う

# 一般質問



17時以降閑散とした河津駅前



動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



おおかわよしき 議員  
**大川良樹**

### 質問

## 河津駅前に屋外分煙施設の設置を

答え 設置は考えていない

**質問** 屋外分煙施設等の取組と現状は。

**町長** 公共施設については法律に従いその対策を行っている。

**質問** 観光地として望まない受動喫煙対策と屋外分煙施設等の整備促進は。

**町長** 屋外施設については、分煙施設等を設けていない。

**質問** 町たばこ税用途は。

**総務課長** 目的税でない為、一般財源として町の各種事業の財源として活用。

**質問** 河津駅周辺に望まない受動喫煙対策は。

**産業振興課長** 駅構内、駅前広場についても公共性が高く禁煙となっており、伊豆急からの要望もなく、桜まつりの混雑状況から分煙施設の設置は

考えてない。

**質問** 駅前等に屋外分煙施設の設置は望まない受動喫煙対策推進、今後の地方たばこ税の安定的な観点からも自治体の責務と思うが検討されないか。

**町長** 交通事業者からも分煙施設はなくす方向で考えていると聞いているので、考えていない。

### 質問

## 町長のライドシェアの見解は

答え 17時以降に限り検討を

**質問** 観光地として17時以降タクシーがない町で観光客を呼べるのか。

**町長** 観光地と言うことだけでなく住民の足としても夜間タクシーがないのは大きな問題。

**質問** 公共交通や高齢者移動支援を含む現状見直しと新たな移動手段の検討は。

**町長** 住みにくい町の課題にもなっているが解決できていないのが現状、新たにデマンドタクシーができないか確認している。

**質問** ライドシェアについて町長の見解は。

**町長** すでにいろいろな自治体で研究されており、例えば河津の例だと17時以降に限ってライドシェアができないか等検討し

てみたい。

**質問** 町全体で支え合うようなライドシェアの研究や実証実験と交通空白地域解消の仕組みづくりの検討は。

**町長** 地域交通会議でもいろいろ検討していきたい、ある程度方向が決まれば実証実験も必要。

# 町政を問う

# 一般質問



わた なべ ひろし 渡 邊 弘 議員

動画にて議会の様子がご覧頂けます



河津小学校体育館横の通学路

**質問** 防災公園整備計画変更は国の指導か

**答え** 協議し、国と費用分担を進めた

**質問** 議会の議決で2億916万円が出費されている。計画変更は国からの押しつけではないか。

協議した。国からの押しつけでなく双方協議の上。

となる見込み。

**町長** 費用分担については国と協議を進めてきた造成に10億円近い費用が国から見込めない状況になり公園機能を落とさずに土地形状を一段から二段に変更し計画の変更を

**副町長** ドクターヘリポートはバガテル公園に確保したので機能の低下はない。

**質問** 機能の中に遺体収容所は整備されるのか。

**町長** 費用分担については国と協議を進めてきた造成に10億円近い費用が国から見込めない状況になり公園機能を落とさずに土地形状を一段から二段に変更し計画の変更を

**建設課長** 計画変更により盛り土量が約4万5000㎡に減少し擁壁工事等が無い構造になり10億円近い費用が1億円程度

**町長** 今の段階では特に考えていない。

**質問** 危険な通学路状況をいつまで続けるのか

**答え** 良い方法が見つかるまで続けたい

**質問** スクールバスの運行が始まり歩行通学児童は正門から登校せずに体育館の横から登校している。体育館の横の道は歩道もない細い道路。通学時には車の通行も多く非常に危険な状況だ。農協の広い道にも横断歩道もなく回り道をする状況。危険な通学路状況をいつまで続けるのか。

まで続けるのか。

会議でも話し合いを重ね実施した。今後、小学校保護者、バス運行会社、教育委員会とで検討し、良い方法が見つかるまで安全に配慮しながら続けたい。

**教育委員会事務局長** スクールバスの運行は協議を重ねた上で学校敷地内乗り入れが最善と判断した。

他「動物の死骸処理」「河津ブランド認定事業」2件

**教育長** スクールバスと登校児童との接触を避けるため歩行通学児童の通学路の変更をした。バス運行会社とも相談し職員

危険な通学路状況をいつまで続けるのか。

運行会社とも相談し職員

# 町政を問う

# 一般質問



誤って捕獲されたツキノワグマ



動画にて議会の様子がご覧頂けます



わた なべ まさ あき  
渡 邊 昌 昭 議員

## 質問 農業の経営安定化と事業継承は

### 答え 関係団体と連携を深めることが大事

**質問** 高齢化と人口減少が続く中、今後の農業をどのように考えるか、収入保険の補助による経営安定化はできないか。

業共済支部に負担金を支払っており、特定の農業者への損害保険を補填することは現在考えていない。

連携を深めていきたい。  
**産業振興課長** 農業次世代、人材投資事業の活用ができる制度がある。新たな取り組みに対する制度もある。農業の集約や、減少が進んでいる中、JA、県農業振興公社、県農業関連事業者とコンタクトを取り、政策を考えたい。

**町長** 高齢化や人口減少問題は産業に大きく影響している。地元の産物として重要な要素であり、景観的にも大事だと思う。  
**産業振興課長** 町では農

**質問** 高齢による離農者と就農希望の移住者や規模拡大を希望する後継者とのマッチングを町が中心となつてできないか。  
**町長** 農業関係団体との

## 質問 誤って捕獲された熊への対応は

### 答え 県のマニュアルに沿って対応

**質問** 10月に伊豆半島にはいないはずのツキノワグマが町内で誤って捕獲された。結果は放獣したが、対策会議はないのか、GPS発信機等はつけられないか。

**産業振興課長** 静岡県では熊は狩猟自粛となっている。環境省、県と町で確認し、県により放獣の判断がされた。県の対応マニュアルに沿った対応ができた。県の手順にもGPSの装着の項目はない。捕殺と放獣の差はケースバイケースとなっている。

所はわさび沢の周辺であり、踊子歩道も近い。被害防止対策をどのようにしているのか。  
**産業振興課長** 今のところ被害は出ていない。踊子歩道やゲート、峠に注意喚起の看板を取り付けた。

**町長** 自然体系の変化により、出没する可能性が出てきた。被害報告はなく、対策会議等はない。注意喚起をしている。

**質問** 錯誤捕獲された場

他「狩猟者確保について」1件



# 町政を問う

# 一般質問



まさ き せい じ 議員  
正木 誠 司

動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



生活科の学習でサツマイモの苗を植える河津小1・2年生

### 質問

ふるさと納税の寄附状況は

答え 令和3・4年度と比較して増えている

質問 令和5年度のふるさと納税の寄附額は、令和3・4年度と比較してどのくらいの寄附額となっているのか。

015万2000円で約40%増となっている。

年度末想定は不明。

質問 令和5年度のふるさと納税の寄附額は、令和3・4年度と比較してどのくらいの寄附額となっているのか。

質問 令和5年度のふるさと納税の寄附額は、令和3・4年度と比較してどのくらいの寄附額となっているのか。

今年の見込額はどのくらいを想定しているのか。

質問 残りの期間で寄附額を伸ばす取り組みは。

企画調整課長 今年度10月末現在で5628万7000円の寄附額。過去最高だった令和3年度10月末は5093万円で約10%増。令和4年度は4

企画調整課長 10月から返礼品規定の厳格化があり駆け込み需要があった。例年は年末に需要が伸びるが今年度は例年通りの需要があるか解らないため

企画調整課長 地域おこし協力隊員を配置して新たな商品の掘り起こしに取り組み、宿泊費補助券を新たに5施設、28件を登録済。現在、5施設、23件を申請中で寄附額アップを図っている。

### 質問

学校給食における食材費高騰の影響は

答え 今年度より給食費が値上げされ影響は無い

質問 燃料価格高や円安による食材費高騰により全国的に学校給食への影響が報道されているが河津町で影響はあるのか。

町長 国のコロナ対策や物価高騰対策の交付金を活用して今年度は給食費の全額補助を実施。

令和5年度から給食費の増額改定を行ったため、現時点で影響は出ていない。

質問 幼稚園児から中学生が休耕地を活用して野菜や果物を作り給食に活用する食育を導入出来ないか。

幼稚園児から中学生が休耕地を活用して野菜や果物を作り給食に活用する食育を導入出来ないか。

教育長 小学1・2年生が生活科の学習としてサツマイモを育てている。5年生になると食育学習として調理実習を行う。全ての児童・生徒に活動時間を確保するのは現状では難しい。

教育委員会事務局長 昨年度は食材費高騰により

町長 休耕地対策、地元食材活用、食育の面で良い取り組みだと思う。

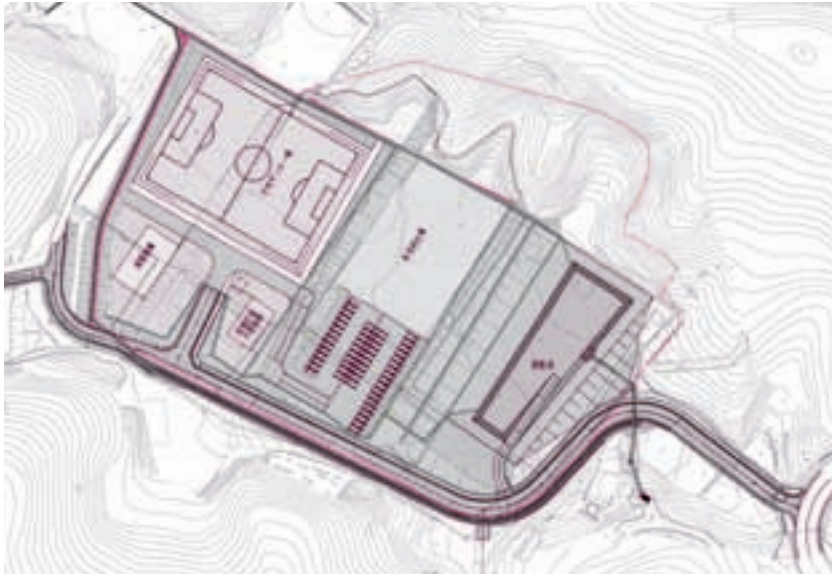
教育委員会事務局長 昨年度は食材費高騰により

町長 休耕地対策、地元食材活用、食育の面で良い取り組みだと思う。

他「旧南中跡地活用・議員の質問」「県立高校長期計画の取組み」2件

# 町政を問う

# 一般質問



花泉園跡地の防災公園変更計画案



うえむらかずまさ 上村和正 議員

動画にて  
議会の様子  
がご覧  
頂けます



### 質問

防災公園を将来的に維持可能か

答え 維持しなければならない

**質問** 造成後の事業費及びランニングコストは。

**防災課長** 概算事業費は出ていない。ランニング

コストは、現時点で水道設備の概算しか出ていない。年間約90万円から290万円となり整備内容により幅が出ている。

**質問** 消防分署の移転は。

**町長** 防災公園内に建設

### 質問

発生土の新たな受け入れ計画は

答え 関係機関と協力しながら検討する

**質問** 河津川の洪水浸水想定区域での活用は。

**町長** 発生土を活用する点では、防災面でも活用

できる。例えば堤防の背後地を埋める事によりスパー堤防とか出来ると思う。ただ、今の段階では新たな受け入れ場所について関係機関と協議を進めている。土地について

物集積として機能し広大なスペースが必要。

**質問** 既存の施設、町有地の活用は。

**町長** 役場庁舎との連携や、サテライト的な役割も果たす。用地の見直しは、伊豆縦貫道の発生土を活用でき協力できる。現在地の有効活用を今後

も図りたい。

**防災課長** 現在、東京電力と災害時の協定はあるが、平常時の停電情報を町民に広報するか決まっていない。東京電力から

停電情報に関する広報等の依頼がなければ出来ない。町としてのような情報を発信するか調整を始めている。他「トイレ改修」1件

**質問** 停電時の広報による該当地区への周知は。

は、地権者との理解できないこともあり、埋め立て後の利用も目的などをふまえて検討しなければならない。また県との関係もあり河川整備計画等も作っているようなので、県の計画等も踏まえ、町として検討していきたい。

# 町政を問う

# 一般質問



きたしままさお 北島正男 議員

動画にて  
議会の様子が  
ご覧頂けます



## 河津町第5次総合計画（～令和12年）

恵まれた観光資源に磨きをかける施策（抜粋）

- 湯ヶ野地区は、「伊豆の踊子」ゆかりの地で、文学の里ゾーンとして既存施設の有効利用や環境整備を進める。
- 七滝温泉は、ジオパークとして自然環境と調和しグレードの高い環境整備をすすめる。
- 菖蒲沢 今井浜 河津浜は海洋レジャーゾーンとして、機能を充実させ、海の魅力を生かした地域づくりを進める。
- 歩道の段差をなくしたり、ユニバーサルデザイン化を計画的に進める。

町の最上位計画として位置づけられる「第5次総合計画」

### 質問

## 労働人口の激減に対する支援を

### 答え

## 様々な施策を通じて歯止めをかける

### 質問

町のすべての事業が人員不足で苦しんでいるが、役場主導で働き手及び働き方の選択肢の掘り起こしをしてほしい。

### 町長

労働人口不足は、認識している。活性化や町づくりにより克服したい。商工や農水と連携し、外に向けてのPRで関係人口増加に努めたい。

### 企画調整課長

移住者（東

### 質問

京圏（就労金も6件の問い合わせ中3件申請があり動きはある。

町の若手との施策や住環境について課題研究や、河津の暮らしを考えるワークショップの実施。チャレンジショップ後の起業促進等を図っている。

### 質問

後継者不足による廃業の解消を町は支援しないのか。

### 町長

社会参加や活動に参加し、フレイル予防で元気に長く働いて頂く。また経営者の考え方を重視し、商工と連携していく。

### 産業振興課長

就農支援金や、商工会と連携している事業継承引継ぎセンターの活用が有効。マッチング的な取り組みも実行中。

### 質問

## 縦貫道完成時、町への影響と対策は

### 答え

## メリットを優先して要望を続ける

### 質問

生活面や産業面でのメリットは十分ある事を町の人は知っているが観光第一の町として、過去河津町に一部開通した縦貫道の痛み（一日5200台がスルー）が癒えぬまま天城峠区間開通時には、もっとひどいことになるのではと心配する人も多くいる。一部の調査データによると、全線

### 質問

開通時には、河津町に50万人の観光客が増え、98億円の経済波及効果と予測。但し、地域資源の整備と磨き上げ、連絡道と海へ続く道路の整備が不可欠とある。第5次総合計画には「天城峠開通を見据えた町づくりを目指す」とあり、具体的にどう目指すのか。

### 町長

メリットを優先し

早期完成の要望を続ける。観光的には、道路整備は県と研究し、東伊豆町へ結ぶ道路や歴史・文学、ジオパーク、食材の観光資源化を進め「住みたい来たい町」として、将来を見据え大事なものの保護や磨き上げで魅力的なモノにしていく。

# 議会改革特別委員会

町政のチェック機能をしっかり果たすため、より良い議会運営を議員10人全員で協議し、改善すべき課題を抽出し解決を図っていく。

議 会  
改 革

令和5年9月の第3回定例会終了後に2件の改革案を町長に申し入れました。  
議会改革特別委員会は、次の改革案について引き続き調査・研究を進めています。

## <協議中のテーマ>

### 【議員のなり手不足の解消】

- ・ 兼業のしにくさ ・ 仕事や魅力の周知 ・ 議会日程のスケジュールリングの配慮
- ・ 女性の参入しやすい施策 ・ 選挙費用の軽減

### 【町民の皆さんとの距離を縮めるには】

- ・ 町民の皆さま参画による議会モニター ・ 議会サポーター制度の新設
- ・ 議会内容や活動のわかりやすい情報公開

### 【議会DXの取り組み】

- ・ 議会内デジタル化の推進（行政と合わせ検討）
- ・ 本会議でのデジタル機器（パソコン・タブレットなど）持ち込み許可

### 【その他の改革案】

- ・ 常任委員会からの代表質問実施 ・ 一般質問項目その後の進捗確認

## <テーマの選定>

- \* 10月19日、11月21日に議会改革特別委員会を開催し、様々な意見交換・検討を実施。
  - 次回検討内容 —
- \* テーマを2件に絞りスケジュールを決め、スピード感を第一に進める。
  - ・ スケジュール案：令和6年9月定例会時に委員長報告を行う事とする。
  - ・ 議員のなり手不足をテーマとして、以下の2件について研究を進める。
  - ・ 議会モニター、サポーター制度
  - ・ 議会DX化
- \* 次回開催日：令和6年1月19日(金)



議会改革特別委員会/委員長 渡邊弘議員・副委員長 宮崎啓次議員・委員 全議員

## 常任委員会活動

### 第1常任委員会

10月19日

調査研究テーマについて

11月14日

移住者との意見交換会

11月17日

移住者との意見交換会  
のまとめ及び調査研究テ  
ーマについて検討し「町  
有財産の活用」について  
調査研究することとした。

#### 移住してよかった点は

- ・ 自然に囲まれ余裕のある生活ができる
- ・ 温泉がある
- ・ 気候が温かい

- ・ 地元、近所の人が優しい
- ・ 子供がのびのびと育っている

#### 不便な点は

- ・ 商店、飲食店が少ない。
- ・ 車がないと何もできない
- ・ 町からの広報に不備が多い

- ・ 高校の進学先がない
  - ・ 環境が荒れている
- 将来の河津に望むこと
- ・ 自然環境を保全し、それを生かした町に。
  - ・ 子育て世代を呼び込み子育てしやすい町に。
  - ・ 起業しやすい町、6次産業が活況な町
  - ・ 観光客がわざわざよる町

『移住者との意見交換会』  
第1常任委員会では11月14日将来の河津町の姿を調査するため、河津町の魅力について当町に移住した皆さんとの意見交換会を開催した。

意見は次のとおり(抜粋)  
**移住を決めた理由は**  
・ 知人の紹介や偶然河津で家を購入することができた

- ・ 空き家対策の推進
- ・ 統合後の空き校舎の活用

多くの意見を聞くことができ、今後のまちづくりに大いに参考となった。



移住者との意見交換会

### 議員月例会

『ローカル5G勉強会』

11月21日

本年の河津桜まつりの混雑時に携帯電話によるネット障害などが発生したことから通信を確保するため、携帯電話の最先端技術である「ローカル

5G」についてソニーワイヤレスコミュニケーション ショーンズ(株)の福本順一氏から解説を受けた。

### 第2常任委員会

『商工業の現状は』

11月14日

河津町商工会との意見交換会 全員出席

11月21日 委員会

商工会との意見交換会のまとめ 全員出席

11月28日

商工会から町への要望書提出  
委員長・副委員長同行

### 広報常任委員会

『100号を迎え』

25年間続いた議会だよりが今号で100号を迎えるにあたり編集会議ごとに検討を重ねた。

創刊号から100号までの変遷をたどりつつ、より読みやすい紙面作成、研修に取り組むこと等を話し合った。

#### 主な検討内容

- ・ 表紙の刷新
- ・ 議会後翌月発行
- ・ 特集記事の強化
- ・ 公聴の場の設定
- ・ QRコードの添付
- ・ 積極的な研修参加
- ・ AI議事録の導入
- ・ Facebookでの議会活動発信



商工会との意見交換会

議会のうごき



遠藤 嘉規 議長

議会活動も、コロナ前に  
戻り活発化しております。  
令和5年第3回定例会  
以降本定例会開催までの  
議会活動。

- ・ 議会議長会事業・議長  
に要請のあった諸会合  
16件
  - ・ 町議会活動 7件
  - ・ 常任委員会活動 13件
  - ・ 一部事務組合活動 4件
  - ・ その他委員会活動 3件
- 議会の詳しい活動は、  
Facebookに随時掲載してい  
ます。



Facebookで  
議会活動を発信中

一部事務組合

一部事務組合とは、複数の市町が共同で仕事を行う目的で設立する団体

東河環境センター

令和4年度会計歳入  
歳出決算認定

9月22日

東河環境センター議会  
が開催され、令和4年度  
歳入歳出決算が認定され  
た。

- ・ 決算内容は次のとおり。
- ・ 歳入合計 8億627万1  
547円
- ・ 歳出合計 6億1984万  
2551円
- ・ 歳入歳出差引残額 1億8  
642万8996円
- ・ 翌年度への繰越事業 2件  
（し尿処理施設基幹的設  
備改良事業 9935万2  
千円・粗大ごみ処理施設  
補修事業 2321万円）
- ・ 実質収支 6386万69  
96円

下田メディカルセンター

常勤整形外科医の  
派遣決定

10月5日

一部事務組合下田メ  
ディカルセンター議会は  
所管事務調査の一環とし  
て設置・管理を行ってい  
る、なぎさ園、解体工事  
の決定した旧共立湊病院、  
下田メディカルセンター  
の3か所の視察を行った。

施設の利用状況を把握  
するため、それぞれの施  
設から説明を受け今後の  
議会運営のための認識・  
共有が図られた。また旧  
共立湊病院跡地利用に関  
しては今後も継続して検  
討されることを共有認識  
とした。



なぎさ園での研修

10月12日

県による医師派遣継続  
と共に早急な常勤の整形  
外科医派遣のため指定管  
理者、管理責任者、議会  
代表者が県知事に要望活  
動を行った。



県知事への要望

※11月29日に指定管理者  
から整形外科医派遣決定  
の報告がなされた。要望  
活動が実を結び4月から  
常勤医として派遣される。

下田地区消防組合

臨時議会開催

11月28日

静岡県市町総合事務組  
合規約の一部を変更する  
規約、消防組合職員の給  
与に関する条例の一部を  
改正する条例の制定、補  
正予算（第2号）につい  
て審議し可決した。

その後、消防長から駿  
東伊豆消防組合と下田地  
区消防組合の両組合の「広  
域化協議の経過と現状」  
「消防力の基盤強化の経  
過と現状」について説明  
を受けた。



消防組合区域図  
(静岡県WEBサイトから)

# 議会だより第100号

## 読者アンケート

締め切り  
2月末日必着

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。  
各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。または、下記QRコードから、WEB回答できます。



スマホで簡単に  
アンケート回答  
ができます

●送付先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2  
河津町役場 議会事務局  
※切手代などは各自ご負担願います。

Q 1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q 2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。

複数回答可)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> P. 2 ~ P. 3 令和6年議員の抱負 | <input type="checkbox"/> P. 13 常任委員会の活動     |
| <input type="checkbox"/> P. 4 ~ P. 5 定例会       | <input type="checkbox"/> P. 14 議会のごき・一部事務組合 |
| <input type="checkbox"/> P. 6 ~ P. 11 一般質問     | <input type="checkbox"/> P. 16 私の一言・編集後記    |
| <input type="checkbox"/> P. 12 議会改革特別委員会       |   |

Q 3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足     2. まあまあ満足     3. もう少し     4. 不満

Q 4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。



抽選で5名様に  
「河津踊り子温泉会館入浴券」  
プレゼント!!

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。  
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

お名前(任意)	
ご住所(任意)	
連絡先(任意)	

無記名でも構いません。ただし、プレゼントの対象にはなりません。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報常任委員会より改めてご連絡差し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することとはございません。

議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405

E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

## ～私の一言～



### 「25年前郡下町村初の議会報」

元河津町議会議員 飯田 正臣

議会だよりの発刊100号大変ご苦労様です。25年前、私が議長になったとき、故池田陽一議員より、町民の皆さまにもっと町行政に関心を持っていただくことと、議会をより活性化していきましょうとの提案があり、当時の櫻井恭次町長に議会報発行の予算を要望いたしました。

農協の有線テレビが地域によっては見られなく、議会活動が町民の皆さまになかなか届かない状況でした。当初、鳥澤昭章広報編集委員長と4名の編集委員にお願いし、平成11年4月に第1号が発刊されました。当時、郡下の町村では、初めての試みだったと記憶しております。編集委員の皆さまは大変でしょうが、議会だよりがますます充実して議会と町が活性化しますよう期待しております。



創刊当時の議員の皆さま（議会だより第1号掲載）

### 「紙媒体の議会だよりの意義」

元議会広報編集特別委員会委員長

小林 和子

議会だよりが100号を迎える。第1号は平成11年4月号から始まり、広報編集委員長は鳥澤昭章氏でした。始まりの経緯は知らないが、やっと議会の内容が広報されるようになったと話した事を記憶している。

第1号は左開き、1頁に縦3段、小さな字で印刷された白黒12頁の冊子で、定例会の内容、一般質問の受け答え、議会の動き等でした。

編集委員には概ね新人議員があたり、時の委員会により記事は編集、工夫され今に至っている。

女性の意見が初めて掲載された第16号、市町村合併検討が行われた時には賛否両論の意見が掲載された第19号。他には紙質の変化やフォントの拡大、二色刷り、表紙のカラー化。写真の公募等。第61号から右開きとなり、第77号からはQRコードをつけた。また、思い切ったレイアウトを試みる等変化がうかがえる。

かつて私も編集委員であった。委員会は意見交換が活発で「写真はどうする。締切りに間に合うか。キャッチコピーを考える。」など今思うと多くのやり取りが楽しかった。途中からはPCを持ち込んで互いに教え合ったり、編集に取り組んだことが懐かしい。

デジタル化が進む中で紙媒体の議会だよりの意義は何か。幅広い世代に読んでもらう。表や数字を前に町政を考える等、利点は多くあると思う。これからも町のため、住民のためになお一層の良い紙面を目指して努力し、頑張ってほしい。

（図書館にバックナンバーがあります。）

### 編集後記



議会だより第1号発行から25年が経過し、今回第100号の発行となりました。先輩議員の皆さん方が色々と考え工夫して培ってきた精神を継承し、未来につなげていきたいと思えます。（正木）

#### 広報常任委員会

委員長 桑原 猛

副委員長 北島 正男

委員 正木 誠司

委員 大川 良樹

委員 渡邊 昌昭

次回定例会は3月5日から開催予定です。